学校番号	313

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	新詳　世界史探究（帝国書院）						
副教材等	最新世界史図説タペストリー　二十三訂版（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・時間的な縦軸と空間的な横軸を意識する
・その歴史的事象がどういう経過で生まれたのかという視点を持つ。
・世界史の流れのなかでの現在の日本の在り方を考える。

2　学習の到達目標

【知識・技能】
世界の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる世界の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考・判断・表現】
世界の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

【主体的に学習に取り組む態度】
世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通し，我が国の歴史についての理解，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○世界の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる世界の歴史を理解している。 ○諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	○世界の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。 ○考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりすることができる。	○世界の歴史に関わる諸事象について，『なぜ』という視点を持って学習に取り組もうとしている。 ○世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ○多面的・多角的な考察や深い理解を通し，我が国の歴史についての理解や，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	諸地域の歴史的特質の形成	東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質 1節　中華文明の形成 2節　秦漢帝国と東アジア 3節　中央ユーラシアと遊牧国家 4節　遊牧帝国の興亡と移動 5節　ユーラシアの変動と東アジア	a: 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解している。 b: 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質について考察し，自分の言葉で表現している。 c: 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を主体的に追究しようとしている。	・定期考査	・定期考査 ・ワークシートの記入	・ワークシートの記入 ・パフォーマンス課題への取り組み ・グループワークでの取り組み
	諸地域の交流・再編	ユーラシア大交流圏の成立 1節　イスラーム世界の拡大 2節　ヨーロッパ封建社会の展開 3節　東アジア諸地域の成長と自立 4節　ユーラシア大帝国の出現	a: 西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解している。 b: 西アジアと地中海地域周辺の歴史的な特質について考察し，自分の言葉で表現している。 c: 西アジアと地中海地域周辺の歴史的な特質を主体的に追究しようとしている。	・定期考査	・定期考査 ・ワークシートの記入	・ワークシートの記入 ・パフォーマンス課題への取り組み ・グループワークでの取り組み
2学期	諸地域の結合・変容	アジア諸地域の成熟とヨーロッパの進出 1節　明の国際秩序と東・東南アジア 2節　世界帝国清とアジア諸国の成熟 3節　スペインとポルトガルの進出 4節　イスラーム世界の成熟	a：14～17 世紀にかけてアジア諸地域間の交易が拡大したことを理解している。 b:交易の拡大による諸地域の変化のうち，最も大きな変化について根拠を示しながら自分なりに評価し，表現している。 c:アジア諸地域間の交流について主体的に追究しようとしている。	・定期考査	・定期考査 ・ワークシートの記入	・ワークシートの記入 ・パフォーマンス課題への取り組み ・グループワークでの取り組み

		主権国家体制の成立と交易の拡大 １節　ルネサンスと宗教改革 ２節　主権国家の形成と「17 世紀の危機」 ３節　東欧諸国の台頭とヨーロッパ文化の成熟 ４節　イギリスとフランスの覇権争いと大西洋三角貿易	a：17～18 世紀のヨーロッパの社会構造の変化を理解している。 b：17～18 世紀のヨーロッパの社会構造の変化に大きな影響を与えたものは何かについて考察し，自分の言葉で表現している。 c：17～18 世紀のヨーロッパの社会構造の変化を主体的に追究しようとしている。	・定期考査	・定期考査 ・ワークシートの記入	・ワークシートの記入 ・パフォーマンス課題への取り組み ・グループワークでの取り組み
		環大西洋革命～工業文明と国民国家の誕生 １節　世界で最初の工業化 ２節　アメリカの独立 ３節　フランス革命と国民国家の誕生 ４節　ラテンアメリカへの革命の波及	a：大西洋を取り巻く地域で起こった革命が，各地の社会構造に与えた影響を理解している。 b：大西洋を取り巻く地域で起こった革命が，各地の社会構造に与えた影響について考察し，自分の言葉で表現している。 c：大西洋を取り巻く地域で起こった革命が，各地の社会構造に与えた影響を主体的に追究しようとしている。	・定期考査	・定期考査 ・ワークシートの記入	・ワークシートの記入 ・パフォーマンス課題への取り組み ・グループワークでの取り組み
		イギリスの覇権と欧米の国民国家建設 １節　イギリスの覇権と自由主義 ２節　ヨーロッパに広がる国民国家 ３節　アメリカ合衆国の拡大と国家統合	a：イギリスの覇権が欧米諸国に与えた影響を理解している。 b：国民国家形成の前後で，欧米諸国に生じた変化について考察し，自分の言葉で表現している。 c：イギリスの覇権が欧米諸国に与えた影響を主体的に追究しようとしている。	・定期考査	・定期考査 ・ワークシートの記入	・ワークシートの記入 ・パフォーマンス課題への取り組み ・グループワークでの取り組み
		世界の一体化の進展とアジアの変容 １節　イスラーム王朝の解体と変容 ２節　南・東南アジアの変容 ３節　東アジア諸国の模索と変容	a：「西洋の衝撃」がアジア諸地域に与えた影響を理解している。 b：「西洋の衝撃」によるアジアの変化で，最も重大だと思うことについて，根拠を示しながら自分なりに評価し，表現している。 c：「西洋の衝撃」がアジア諸地域に与えた影響を主体的に追究しようとしている。	・定期考査	・定期考査 ・ワークシートの記入	・ワークシートの記入 ・パフォーマンス課題への取り組み ・グループワークでの取り組み

2学期		世界の一体化の完成とその影響 １節　帝国主義と世界分割競争 ２節　アジア知識人による体制改革の試み	a: 帝国主義が世界各地に与えた変化について，理解している。 b: 帝国主義が世界各地に与えた変化について，欧米およびアジア・アフリカ・オセアニアの各地域ごとに考察し，表現している。 c: 帝国主義が各地に与えた変化について，主体的に追究しようとしている。	・定期考査	・定期考査 ・ワークシートの記入	・ワークシートの記入 ・パフォーマンス課題への取り組み ・グループワークでの取り組み
3学期		世界大戦の時代 １節　第一次世界大戦と社会主義革命 ２節　第一次世界大戦とアジアのナショナリズムの展開 ３節　大衆社会の到来とファシズムの出現 ４節　第二次世界大戦とその惨禍 ６章　戦後の国際秩序と冷戦	a:二度の世界大戦が起こった理由を理解している。 b:第一次世界大戦の反省を踏まえた平和への取り組みは成功せず，第二次世界大戦が起こった理由について考察し，表現している。 c:二度の世界大戦が起こった理由を主体的に追究しようとしている。	・定期考査	・定期考査 ・ワークシートの記入	・ワークシートの記入 ・パフォーマンス課題への取り組み ・グループワークでの取り組み
		１章　冷戦の展開と平和の模索 １節　集団安全保障と冷戦の展開 ２節　多極化の始まり ３節　新しい国際秩序を求めて	a: 冷戦期から現在まで世界各地で発生した紛争を理解している。 b: 冷戦期から現在までの紛争の原因と解決方法について考察し，自分の言葉で表現している。 c:冷戦期から現在までの紛争の原因と解決方法について，共通点や相違点に着目しながら考察し，課題解決の方法を主体的に追究しようとしている。	・定期考査	・定期考査 ・ワークシートの記入	・ワークシートの記入 ・パフォーマンス課題への取り組み ・グループワークでの取り組み

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度